令和7年度　中堅教諭等資質向上研修（必修１－１）

教科指導法研修会（中・社会）に関する課題について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当講師：渡邊瑛季（山梨大学）

　今回の研修では、これからの社会科教育において求められる教科指導に関する資質・能力を培うことを目標として、受講者の先生方とともに、日々の社会科の授業を振り返ってゆきたいと思います。そこで、以下の要領で課題に関する資料を作成していただき、授業実践の紹介をお願い致します。

【課題】中学校社会科の授業の実践例をひとつ報告してください。

【資料の作成要領】

１．学習指導案等

　本年度１学期に実施される中学校社会科のいずれかの単元・題材で、学習指導案（形式は自由）を作成してください。中学校社会科であれば、学年、分野、単元は自由です。研修の当日に、その指導案を紙媒体で持参してください。部数は受講者数（県総合教育センターウェブサイトに掲載）＋講師用（１部）＋センター保存用（１部）の合計とします。配布資料やワークシート、学習指導案の説明や検討に必要と思われるもの（学習指導要領解説、教科書、副読本など）があれば、適宜それらも持参してください。

２．授業実践記録

　上記の学習指導案による授業を実施したうえで、その授業実践記録（形式は自由。単元名・学年、単元目標、単元の評価規準、授業の実際（教師の指示・発問、生徒の活動や様子などを時系列で記載）、実践を通した成果と課題について記載）、を作成し、同じく研修の当日に紙媒体で持参してください。部数は上記と同じです。また追加の資料として、授業実践の様子をビデオ等で撮影された場合は、パソコン、プロジェクター等を用意いたしますので、データをUSBメモリやCDに記録したものをお持ちください。当日は、これらの資料をもとに、その実践を通して得られた成果と課題について、ご説明をお願いします。

※なお、本年度、社会科の授業を担当されていない方は、これまでの実践事例をもとに資料を作成してください。

【当日の予定】

（１）日　　時：2025年9月25日（木）9:15～12:15（受付8:30～9:15）

（２）受　　付：山梨大学教育学部　M号館1階

（３）研修場所：山梨大学教育学部　LC号館14教室

（４）研修内容：受講者による実践報告（一人20～25分程度。受講者数によってはグループをつくり、その中で報告していただきます）と研究討議

（５）ご質問等：研修当日までに課題等について質問等がありましたら、下記までお問い　　　　　　　　　合わせください。

山梨大学教育学部　渡邊　瑛季（わたなべ　えいき）

e.watanabe@yamanashi.ac.jp